今年もオザスコが総合優勝＝ＵＣＥＳ相撲選手権大会

今年も白熱した同大会

聖南西文化体育連盟（ＵＣＥＳ、山村敏明会長）主催のサンパウロ州大会予選を兼ねた聖南西相撲選手権が４日、オザスコ日伯文化体育協会で行われた。

男子は第４０回、女子は２０回目となった。約２００人の力士が年齢別のカテゴリーに分かれ、男女ともにオザスコチームが総合優勝を果たした。女子の部が２０年目を迎え、ブラジル初の女子チームを作った坂下サブリナさんの表彰も行なわれた。

大会には在聖日本国総領事館の野口泰総領事やリベルダーデ商工会議所（ＡＣＡＬ）の池崎博文会長も出席し、ブラジル力士の白熱した試合を楽しんだ。各カテゴリーの優勝者は今月２５日に行なわれる州大会に出場する。

ブラジル相撲連盟理事の大瀧多喜男さん（７８、山形）は「皆喜んで相撲をとってくれてありがたい。子供の活躍を見に保護者も来てくれる」と喜びを語った。

【男子】ミリンＣ＝アルトゥール・デナルディ、同Ｂ＝ロドリゴ・ダロッリオ、同Ａ＝パウロ・フレイタス、インファンチル＝ギリェルモ・フクシマ、ジュベニル＝エリヴェルトン・コレイア、アダルト＝（軽量）ジョアン・ヴィットル・ダンタス、（重量）チアゴ・シアヴァレラ【女子】ミリンＣ＝アナ・オリヴェイラ、同Ｂ＝レベッカ・サカシタ、同Ａ＝イングリッド・ハルミ、インファンチル＝アリシア・マリー、ジュベニル＝レベッカ・エロイセ、アダルト＝ルス・タイアナ